

山梨県北巨摩郡須玉町

五反田（堰下西）遺跡
二ツ木遺跡（第1次・2次・3次）
大免遺跡

— 帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 —

2002

須玉町教育委員会
特定非営利活動法人
文化資源活用協会

山梨県北巨摩郡須玉町

五反田（堰下西）遺跡
二ツ木遺跡（第1次・2次・3次）
大免遺跡

—— 帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 ——

2002

須玉町教育委員会
特定非営利活動法人
文化資源活用協会

序

本報告書は、天然ガスパイプライン（中府ライン）建設工事に伴い、発掘調査の成果をまとめたものである。本遺跡の所在する須卡町は、豊かな気候、風土に恵まれ、これまで各地で人々の長い歴史の跡が発掘・調査されてきました。本調査によってまた新たに縄文時代や平安時代から中世・近世にわたる貴重な資料を得ることができました。最後になりましたが調査にあたってご指導御協力を賜りました関係者並びに調査・整理に従事された方々に厚くお礼申し上げます。

平成14年11月

須卡町教育委員会

教育長 藤巻宣夫

例　言

1. 本書は、帝國石油株式会社天然ガスパイプライン建設工事に伴う五反田（堰下西）遺跡、二ツ木（第1次・2次・3次）遺跡、大免遺跡の文化財発掘調査報告書である。
2. 遺跡は、山梨県北巨摩郡須玉町五反田（堰下西）遺跡（須玉町若神子大豆生田1102-1番地ほか）、二ツ木遺跡（須玉町大豆生田793-1番地ほか）、大免遺跡（須玉町大豆生田850-1番地ほか）に所在する。
3. 試掘は、須玉町教育委員会が行い、本調査、遺物整理、報告書は、帝國石油株式会社の委託により須玉町教育委員会が調査主体となり、その指導のもと特定非営利活動法人文化資源活用協会が行った。
4. 本書の執筆、編集は山路恭之助、深沢裕三が行い、DTP編集は、浅川佐知子が行った。
5. 本調査の出土品、諸記録は須玉町教育委員会が保管している。
6. 発掘調査組織
調査主体　須玉町教育委員会　教育長　藤巻寅夫
調査担当　須玉町教育委員会　山路恭之助
調査委員　深沢裕三
7. 遺物の復元、接合、注記、拓影は、岡本美恵子、市川道夫、市川博子、が行い火測、トレイス及び図面作成は岡本美恵子、小尾裕美子、浅川佐知子、三井ちぐさが行った。
8. 発掘調査参加者
浅川英光、伏見徳芳、角井保之助、深沢照明、深沢直江、小沢久恵、八巻まさ子、石川モト子、宮崎夏子、宮沢今朝子、花輪照子、土屋節子

凡　例

1. 本書で用いた地図は、国土交通省国土地理院の数値200,000（甲府1/200,000平成9年7月発行）及び、数値地図25,000（若神子1/25,000平成9年10月1日発行）である。
2. 実測図の上器、陶器断面が黒塗りは須惠器、それ以外の白抜きは土器、土師器などである。
3. 上層説明における上色表示は農林水産省水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖』（1991年度版）を使用した。
4. 遺構及び遺物の押図中の縮尺は下記のとおりである。
遺構全体図 1/80 1/1,000　遺物実測図　土器 1/2 石器 1/2 1/4
磁器、陶器 1/2 1/1　その他 1/2

目 次

序

例言

目次

第1章 調査に至る経緯と経過.....	1
第2章 五反田（堰下西）遺跡の遺構と遺物.....	3
第3章 ニツ木（第1次・2次・3次）遺跡の遺構と遺物.....	4
第4章 大免遺跡の遺構と遺物.....	5

挿図目次

第1図 遺跡位置図.....	1
第2図 遺跡と文化財.....	2
第3図 五反田遺跡全体図1.....	7.8
第4図 五反田遺跡全体図2.....	9.10
第5図 ニツ木遺跡第1次全休図1.....	11.12
第6図 ニツ木遺跡第1次全体図2.....	13.14
第7図 ニツ木遺跡第2次全休図.....	13.14
第8図 ニツ木遺跡第3次全休図.....	13.14
第9図 大免遺跡全休図1.....	15.16
第10図 大免遺跡全休図2.....	17.18
第11図 大免遺跡特殊遺構.....	19
第12図 五反田（堰下西）遺跡1号住出土遺物.....	20
第13図 五反田（堰下西）遺跡2号住出土遺物.....	20
第14図 五反田（堰下西）遺跡3号住出土遺物.....	21
第15図 五反田（堰下西）遺跡遺構外山上遺物.....	21
第16図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....	22
第17図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....	23
第18図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....	24
第19図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....	25
第20図 ニツ木遺跡第1次出土遺物.....	26
第21図 ニツ木遺跡第2次トレンチ1出土遺物.....	27
第22図 ニツ木遺跡第2次トレンチ2出土遺物.....	27
第23図 ニツ木遺跡第2次トレンチ3出土遺物.....	27
第24図 ニツ木遺跡第2次トレンチ4出土遺物.....	27
第25図 ニツ木遺跡第2次立坑1出土遺物.....	28
第26図 ニツ木遺跡第2次立坑2出土遺物.....	28
第27図 ニツ木遺跡第3次トレンチ1出土遺物.....	29

第28図	二ツ木遺跡第3次トレンチ2出土遺物	29
第29図	二ツ木遺跡第3次トレンチ3出土遺物	30
第30図	大免遺跡出土遺物	31
第31図	大免遺跡出土遺物	32
第32図	大免遺跡山上遺物	33
第33図	大免遺跡特殊遺構山上遺物	34

表目次

表1-1	五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表	35
表1-2	五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表	36
表2	二ツ木遺跡第1次出土遺物観察表	36
表3	二ツ木遺跡第2次出土遺物観察表	37
表4	二ツ木遺跡第3次山上遺物観察表	37
表5	人免遺跡出土遺物観察表	38

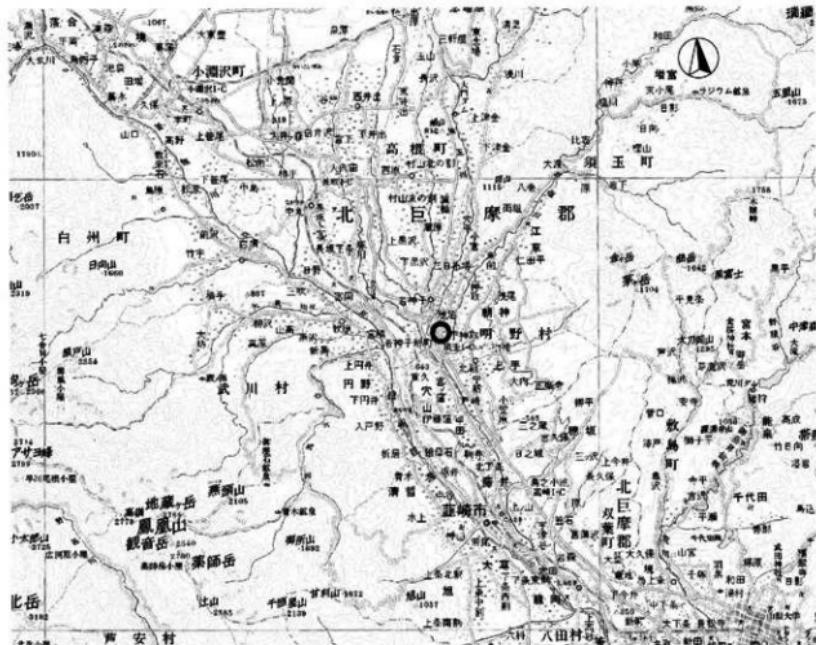
図版目次

図版1	五反田（堰下西）遺跡1号・2号住居址・発掘調査風景
図版2	二ツ木遺跡第1次発掘風景 大免遺跡 発掘風景 人免遺跡特殊遺構
図版3	五反田（堰下西）遺跡1号・2号住山上遺物
図版4	五反田（堰下西）遺跡3号住・遺構外山上遺物
図版5	五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物
図版6	五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物
図版7	五反田（堰下西）遺跡遺構外山上遺物
図版8	五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物
図版9	二ツ木遺跡第1次出土遺物
図版10	二ツ木遺跡第2トレンチ1～4出土遺物
図版11	二ツ木遺跡第2次立坑1・2山上遺物
図版12	二ツ木遺跡第3次トレンチ1・2山上遺物
図版13	二ツ木遺跡第3次トレンチ3次出土遺物
図版14	大免遺跡出土遺物
図版15	大免遺跡山上遺物

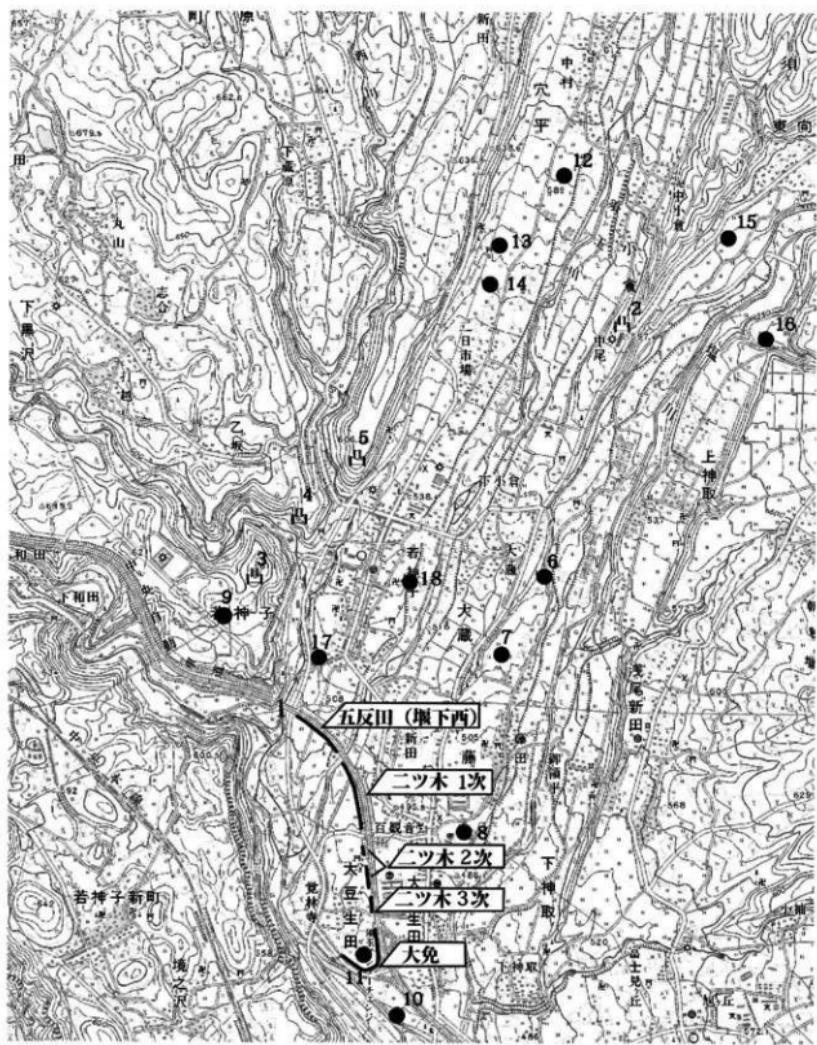
第1章 調査に至る経緯と経過

帝国石油株式会社では、須玉町内を走る中央自動車道の側道に天然ガスパイプライン建設を決定されたが、当該地が平成3年度実施した町内遺跡分布調査による衆知の埋蔵文化財包蔵地であるところから、須玉町教育委員会は、五反田（堰下西）遺跡ほか計3箇所における本調査の必要性を指摘し、帝国石油と須玉町教育委員会との間で「五反田（堰下西）遺跡等埋蔵文化財に関する協定書」を交わし、本調査に移行した。パイプ埋設溝幅1.2mに重機によって、コンクリート、ステコンの順に開削し、須玉町教育委員会調査員の立会いの上、砂利や埋め土を除去した後、遺物包含層を確認した上で、人力による掘削という手順で調査を進めた。

五反田（堰下西）遺跡は、国道141号線清里ライン脇から東へ、須玉川右岸に至る300mまでとし、須玉川右岸から町道百觀寺覚林寺線までの200mをニッ木遺跡第1次、同町道から東へ諏訪神社を挟んで100mをニッ木遺跡第2次とし、ニッ木遺跡第2次東端の地点から町道多屋・覚林寺線が通るカルバートまでの120mを第3次として調査した。大免遺跡は、町道多屋の覚林寺線のカルバート端から東へ、中央自動車道下り乗車口へ通ずるカルバートまでの直線約200mと大きく湾曲して次のカルバートまでの約170m間（計370m）で調査が行われた。発掘調査は、平成12年12月13日に始まり、平成13年3月30日まで実施した。調査の結果は、住居址3と焼土を伴う特殊集石遺構のほか地境の石列や水路の石列、集石等がある。



第1図 遺跡位置図(1/200,000)



第2図 遺跡と文化財 (1/25,000)

- 1 五反田（塙下西）遺跡、二ツ木遺跡、大免遺跡 2 中尾城 3 若神子南城 4 若神子古城 5 若神子北城
- 6 塚田遺跡 7 滝下遺跡 8 腰巻、腰巻北遺跡 9 大小久保遺跡 10 多屋前遺跡 11 大豆生田遺跡
- 12 飯米遺跡 13 蟹坂遺跡 14 宮田、笠張遺跡 15 大木田遺跡 16 下平遺跡 17 五反田遺跡
- 18 御崎前遺跡

第2章 五反田（堰下西）遺跡の遺構と遺物

1号住居址（第4図 図版1）

須玉川右岸に近いカルバートから2m離れた地点から川寄りへ4.1mの範囲に踏み固められた床面と2ヶのピットを伴う遺構を検出した。

出土遺物（第12図 図版3）

縄文上器の深鉢(1)、甲斐型坏片、在地系坏の破片、須恵器、灰釉陶器片等である。住居址北西壁際に2ヶのピットが検出された。プランは円形でそれぞれ25cmが測られ深さは20cmと25cmである。

2号住居址（第4図 図版1）

1号住居址に伴うピットから約2m離て、2号住居址が検出された。1号住居址よりやや狭く2.8m×2.1mの円形の範囲で、床面は固くしまっている。壁際に40cmの円形で深さ10cmのピットが検出された。

出土遺物（第13図 図版3）

床直から胎上繊密で茶褐色の深鉢脚部片（無文）のほか、注口土器（1）、凸部を施した（2）、三つボタン状貼付文（3）、同じ床直から棒状突起を貼付した箱消水式の壺（4）が出土している。褐色土の三層（中位層）から上部器片、灰釉陶器片も出土している。

3号住居址（第4図）

2号住居址から20m北西の位置から検出された遺構で、縄文時代中期末から後期の遺構と考える。

出土遺物（第14図 図版4）

明褐色土の第5層を40cm落ち込んだ黒褐色土内から櫛齒状工具による細い沈線文の深鉢片と砂粒子の多い凹形刺突文と沈線文による区画文の深鉢片（3.5）、爪形文深鉢片（1）、太い沈線文の深鉢片（2）と粗製土器片が出土している。尚、3号住から2m離てピットを2検出した。ピット内からも後期初頭の深鉢口縁片（4.6.7）が山上している。

その他の遺構（第4図）

1号住居址から須玉川寄りに3ヶ所の地境の石列が認められ、3号住居址から下宿へ通ずるカルバートまでの間に地境と考えられる石列が7ヶ所認められた。

住居外の出土遺物（第15～19図 図版4～8）

縄文時代中期後半の曾利式深鉢片（3.4）、後期初頭の壠ノ内式深鉢片（5.21）、加曾利B式深鉢片（9.10.11.20）、加曾利E式深鉢片（22）、小型カメ片（17）、浅鉢片（18）、勝坂式深鉢（19）、把手付深鉢の口縁片（27.28）、その他深鉢片（1.2.6～8.12～16.23～26.29.31～34.36）、注口土器（35）などがある。石器では凹石（37）、丸石（38）などがある。弥生式土器では、壺口唇に刻目文を施した（39）、櫛齒状沈線文の（40）、が出土している。平安時代に比定される土師質土器片（42.43）、須恵器（41）、中世から近世へかけて染付陶器（44.45）が出土した。

第3章 ニツ木遺跡の遺構と遺物

第1次（第5・6図 図版2）

鹿島建設株式会社によるコンクリート剥離作業に合せて、須下川左岸から約20m離れた地点（から町道で下宿へ通ずるカルパートまでと、カルパート脇から中央道に平行して、当観へ向けるカルパートまでの200m（火質190m余）を調査した結果、地境の石積み4ヶ所と地境の石列2ヶ所、塀（水路）の石列2ヶ所が検出された。

出土遺物（第20図 図版9）

縄文時代の精製上器（1）、弥生時代の条痕文のある土器片（2）、古墳時代後期（鬼高）に比定される遺物（3.4.5）、平安時代の中型土器片、在地系上器が少量、灯明皿（6.7）を含め黒釉施釉陶器（9）、染付け陶磁器（11.12.13）、古錢の政和通宝（8）、硯（10）が出土した。

第2次（第7図）

第1次調査区から東にトレンチを3本、西側にトレンチ1本を設定して調査した。諏訪神社の境内下をパイプを通すため東、西に立坑を1ヶ所ずつ設定して、同時に調査した。須下商業高校北側へ通ずるカルパート脇から神社へ向って27mがトレンチ1、次いで13.4mがトレンチ2、立坑まで約20mがトレンチ3とした。立坑は4m×4mの菱形。西側は3m×6.45mの長方形の立坑と長さ13mのトレンチ4を設定して調査した結果、遺構には当たらなかった。トレンチ内に流出する雪解け水をポンプと人力で排出する仕事と上のう作りで苦労した。

出土遺物（第21～26図 図版10～11）

(1) トレンチ1～3 上層から手捏ね上器（6）、施釉陶器（4.5）、染付磁器（3）、徳利の口（9）、中層から土師器土器片（1.10）、在地系土師の（6.8）、土師器底部片、白磁、下層から金雲母、白色粒子を含む縄文上器無文帯小片、黒曜石石核、口縁下に稜がある壺口縁片の古墳後期の鬼高式土器片（2）が出土した。

(2) トレンチ4 擦痕条線文を施した薄い褐色土器片、内外ハケ目の中型カヌ片（12）、斜文沈線文のカヌ片（11）、施釉陶器、染付陶器が出土している。

(3) 立坑1 縄文時代深鉢胴部無文帯の破片、土偶（14）、長さ4.5cm太さ0.62cmで骨製の男性性器を形作った骨製品（13）は、祭祀用に使われたものと考えられる。中型及び在地系の土師質土器片（15）、施釉陶磁器片などが出土している。

(4) 立坑2 縄文時代の遺物ではなく、石鎚で尖頭部が欠けた小型石鎚（16）、石刃（17）、在地系土師器、白磁、黒釉、施釉陶器の蓋（18.19.20）、灰色施釉陶器片（21）など陶器片が多く現代のものでは、タイル材（22）が出土している。

第3次（第8図）

第3次調査区内第1トレンチの東端に中央道下を須下商業校舎北側へ通ずる町道から約120mの畠地内80mにトレンチを3本設けた。

第1トレンチ20m、第2トレンチ15m、第3トレンチ12mとした。残る40mの区域内には、1.5m方形の坪掘りを7ヶ所設定し調査したが、遺構の確認はなかった。

出土遺物（第27～28図 図版12.13）

調査範囲の短い割に遺物の密度は濃く、内容も豊かであった。

(1) トレンチ1 縄文時代に比定される深鉢の破片は薄手土器の胴部無文帯のもの4片のみでほかに平安時代の土師器口縁、高台付底部片（1）、染付陶磁器片、陶器の（2.4）、キセルの雁首（3）、等山上

総数 110 点を数える。

(2) レンチ 2 細かいハケ目に近い条痕の薄手上器片、粗製土器胴部片には指頭痕が認められ、口唇に刻印を施し、器体外周に平行沈線の壺の小片と、同じく口唇に刻印を施し口縁に櫛目状細条線文の壺片と、S 字状口縁部片 (9)、深鉢 (8) は弥生時代に比定される。古墳時代に比定されるものには、須恵壺模倣の高环の頸部 (10)、内外研磨された土師器片がある。平安時代では、削り高台付椀の底部があり中世から近世にかけては染付陶磁器片がある。石器では、尖頭器の完型 (6) と加工途中と思われる黒曜石剥器 (7)、砾石片等がある。出土総数 134 点である。

(3) レンチ 3 櫛目状細条線文の深鉢胴部片 (11) は縄文時代晩期～弥生時代のもので、黒褐色で小さな稜を持った上器片 (14) や (13) が古墳時代後期に当り、平安時代の上師質土器、須恵器片、灰釉陶器片と中世から近世にかけて青磁片、施釉陶磁器片 (15) がある。石器では打製石斧 (12) がある。出土総数 140 点である。

(4) 立坑 1 ~ 7 縄文土器片無文帯のもの 2 片と平安時代の上師器片 8 片、内黑土器 1、灰釉陶器片 1、近世の施釉陶器片 6 片が出土している。

第 4 章 大免遺跡の遺構と遺物

(第 9・10 図 図版 2)

二ツ木遺跡第 3 次調査区の東、中央道をくぐり須玉商業高等学校グランド脇へ通ずる町道から、中央道下り線乗降車待合所入り口のカルバートまでの直線 210m と、そこから須玉 IC 寄りのカルバートまでの 90m、併せて 300m が調査対象区域である。調査始点は中央道バス降車口カルバート脇に設定し、須玉商業高等学校へ通ずるカルバートへ向かって 61m の地点から地境の石積と暗渠の跡が、次いで 18m 離れ石列と板状コンクリートが埋没されており、20m 離れて幅 3m のコンクリートの U 字溝を検出。水路の脇には、補強の河原石が並ぶ。28m 離れて、幅 30 cm の地境の石列が認められた。次いで、降車用カルバートから須玉 IC に近いカルバートまでの 90m 間からの遺構では後述するが焼上と土師質土器を伴う特殊遺構が検出された。

山上遺物 (第 29 ~ 32 図 図版 14.15)

中央道ドリップ降車口のカルバートから須玉商業高等学校グランド脇へ通ずるカルバートまでの直線 210m 間では、縄文時代の遺物としては、櫛目状沈線文の深鉢片 (1) ほか、すすぐ付着した深鉢胴部の破片と雲母が目立つ深鉢胴部片の 3 点で、90 点余の遺物の殆どが平安時代から中世～近世に亘るのである。平安時代の遺物では、信州系の内黒土器片で暗文のある (2) と、内黒土器の底部で外面の剥落が著しいもの、暗文はないが底部に糸切り痕が認められる甲斐型土師器 (3)、黒ずんだ赤褐色上の甲斐型カメ小片と、須恵器カメ片 2 点がある。中世～近世では、乳白色釉を施した陶器片、薄茶色の陶器片、茶緑色陶器片、深緑色陶器片と、染付け磁器碗の下部片、同じ染付け磁器の底部片 (4.5)、寛永通宝一枚 (6)、人形 (7) などが山上した。

須玉 IC 寄りのカルバートまでの 90m は、縄文時代中期末、曾利式の籠口文片 (8)、後期～晩期に見られる条痕文の深鉢片、深鉢の底部 (9)、尖端が欠損した小型石鏃 (10)、長さ 4 cm 強の円筒型で孔が先通している土製品 (11) がある。弥生時代では、器面が研磨され、流水文を施した壺の頸部片 (12) と口唇に刻印を施した壺口縁片 (13)、壺の頸部に櫛目状工具による細条線文を施した (14) がある。

古墳時代では、須恵器の提瓶か耳付壺の把手部（15）、須恵器の長頸瓶口縁片（16）がある。出土遺物総数200点以上の中で平安時代の遺物が90%を占める。甲斐型上器の坏、皿、甕の破片、小型カメ片、内黒土器片（17）、須恵器甕（18）、坏片（19）、灰釉陶器片（20.21）などがある。中世～近世にかけての遺物には、文字の間に小孔が4ヶ穿かれている北宋錢の熙寧元宝（22）や染付け陶磁器、施釉陶磁器が出土した。

特殊遺構（第11図 図版2）

中央道バス降車口のカルバートから須木ICより約50mの地点から検出された遺構である。道路のステコン約70cm下は、3層からなり、田の耕作土、茶褐色土、包含層の黒褐色土が合せて60cm堆積し、最下層の黒褐色土から炭化物が混ざる焼土が検出された。4ヶの不整形ながら四角に近い石を並べ、これを囲む状態で丸碟がコの字状に並び、一番奥には巨石が古墳の奥壁の如くや斜めに立てられている。

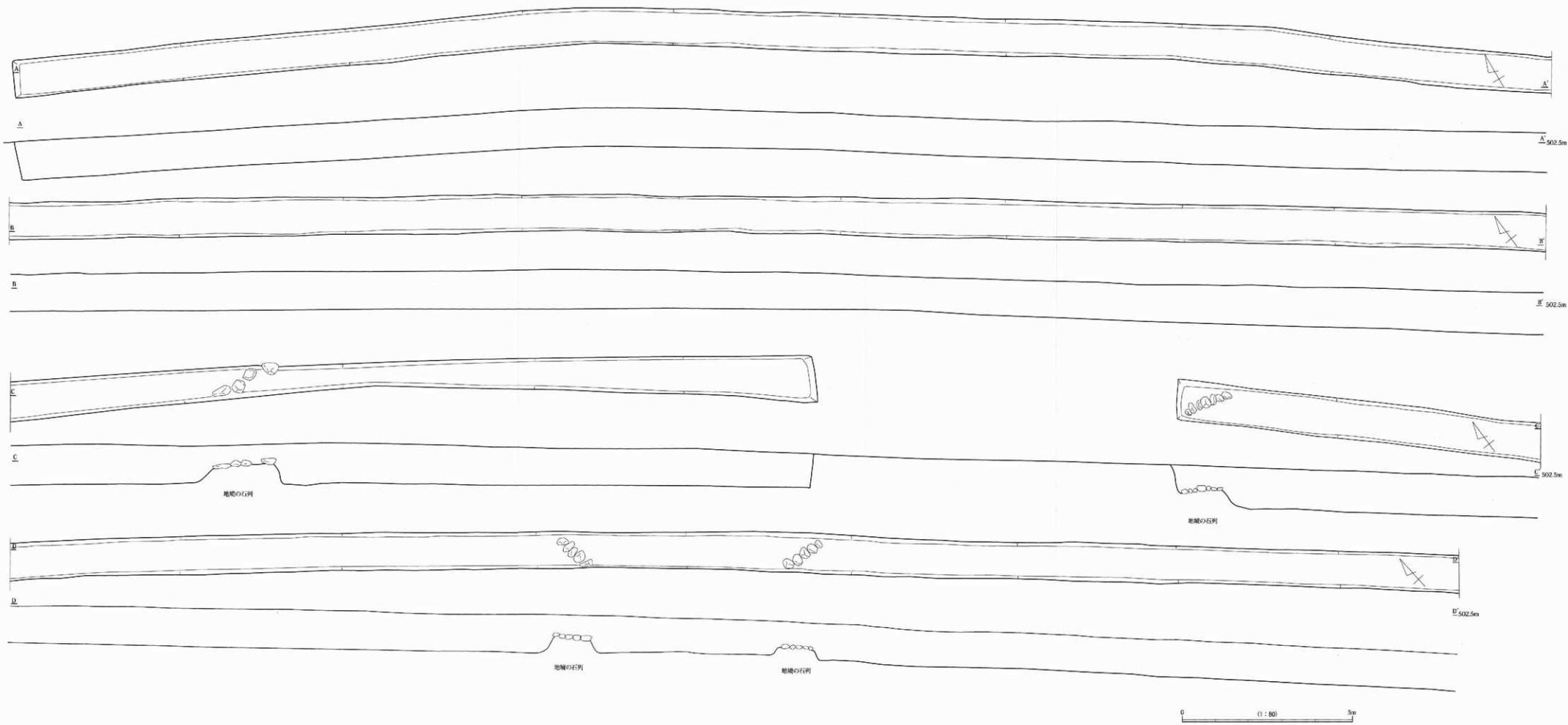
出土遺物（第29図 図版17）

この祭壇状の中央から甲斐型の完型の坏（23）が伏臥状で1ヶと、口縁を欠損した小型甕（24）が出土し、4枚の敷石前の焼土内から須恵器カメ片（写真図版16の右下）が出土した。他に内黒土器片（25）がある。

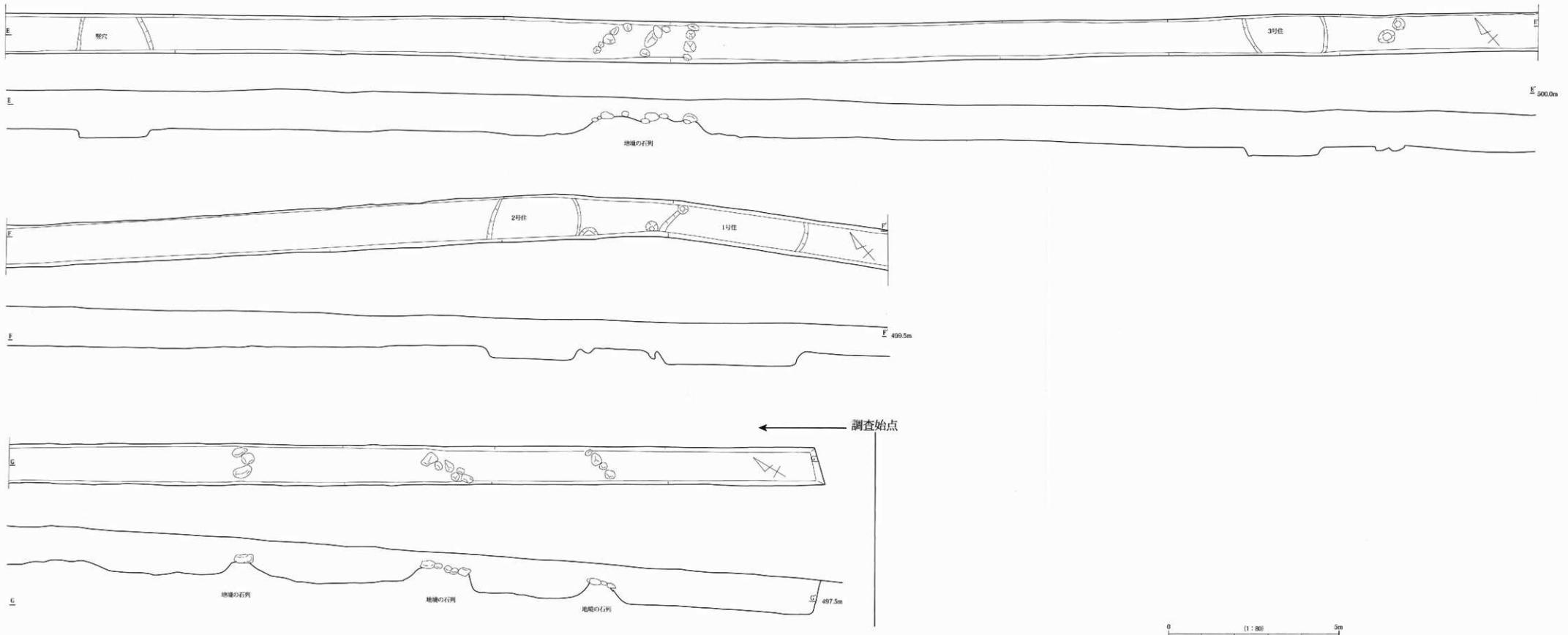
焼上を含む集石遺構は、巨石から4ヶの敷石まで約2mが測られ、焼土が切れた床面から更に約2m間は、住居址の貼床のように踏み固められた面が続く。出土した坏は、ミコミから口縁まで放射状暗文を施し、口縁は、玉縁状で、外縁へラ削り、底部は糸切り後へラ仕上げされている。法量は、口径が11.6cm底径4.3cm、器高4.0cmで底／口比37%が測られる。山梨編年のIX期（10世紀第1四半期）に比定される。特殊遺構の床面が切れた場所は、直径1.1mの水路用コンクリート土管の付設に伴い深さ1.2m以上、幅は4mの範囲が搅乱されている。搅乱から1m離れた黒褐色土内から検出された約1.5mの範囲の集石遺構から十種類の土製品も出土している。

まとめ

須玉川右岸の五反田（堰下西）遺跡から、一部ながら住居址が3軒検出された。出土遺物から縄文時代後期と平安時代にわたる遺構と思われる。ツツ木遺跡第2次の瀬訪神社脇の立坑内から骨で成形されたごく小さい男子性器を形どった遺物が出土している。境内に並べられた道祖神の間に数多くの丸石、石棒があるところから境内を中心に縄文時代の遺構の存在を想定できる。五反田（堰下西）遺跡を右岸に見て南へ流れ下る須玉川が大きく東へ迂曲する大豆生出の地、須玉川左岸の大免遺跡から、平安時代の特殊遺構の骨片を含め貴重な資料を得ることができた。町内に帝國石油株式会社の天然ガスパイプラインが付設される各調査区毎に遺物に於ても縄文時代中期・後期・弥生時代・古墳時代・平安時代・中世・近世に比定される資料を得た事によって今後の調査に大いに役立つものと考える。



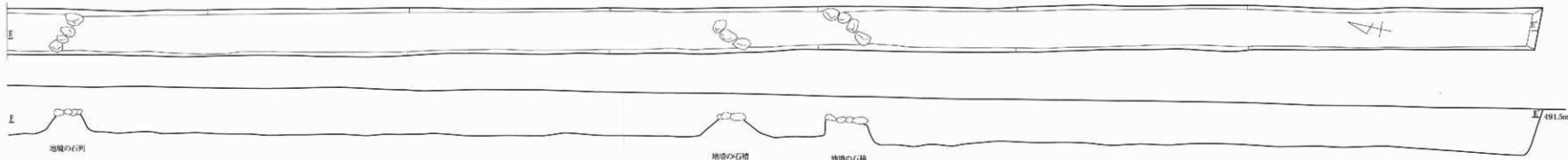
第3図 五反田(城下西)遺跡 全体図 1



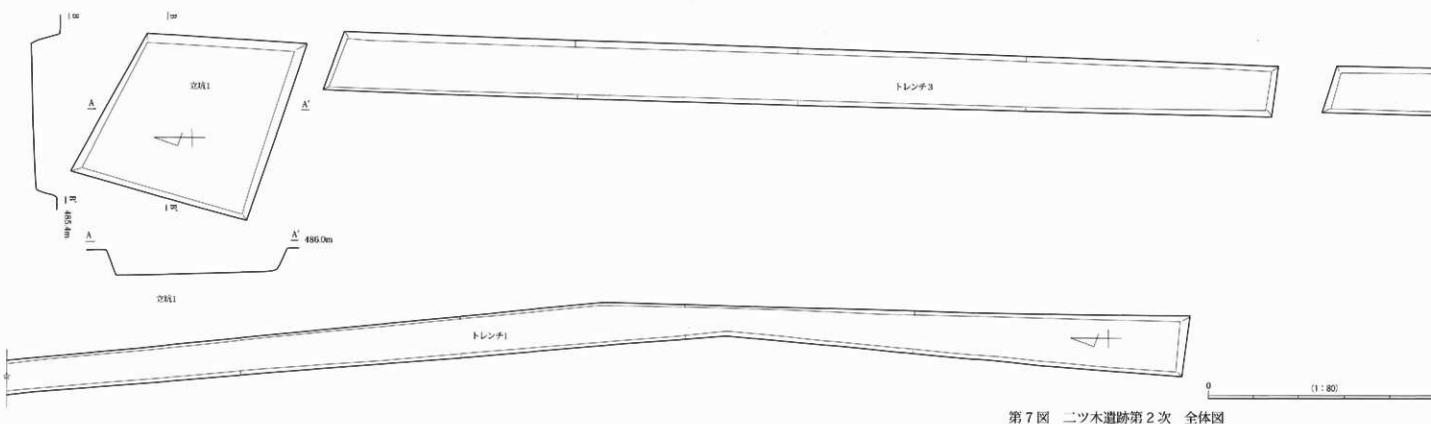
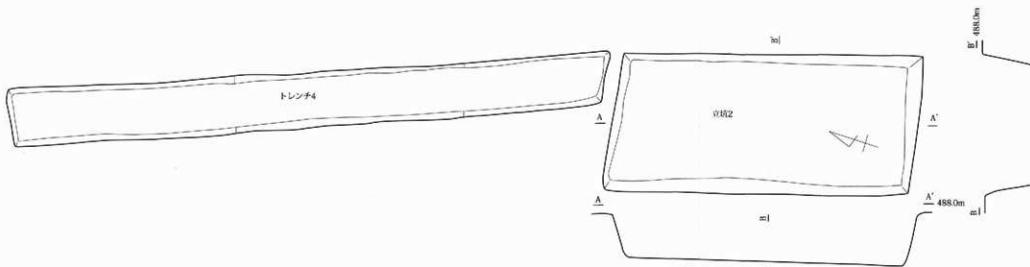
第4図 五反田(塙下西)遺跡 全体図2



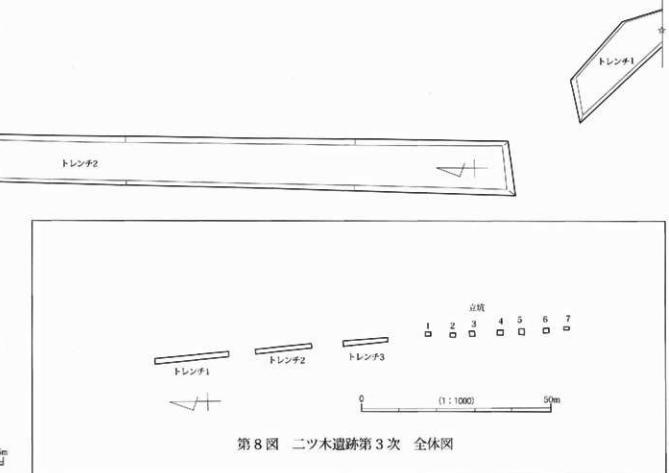
第5図 ニツ木遺跡第1次 全体図 1



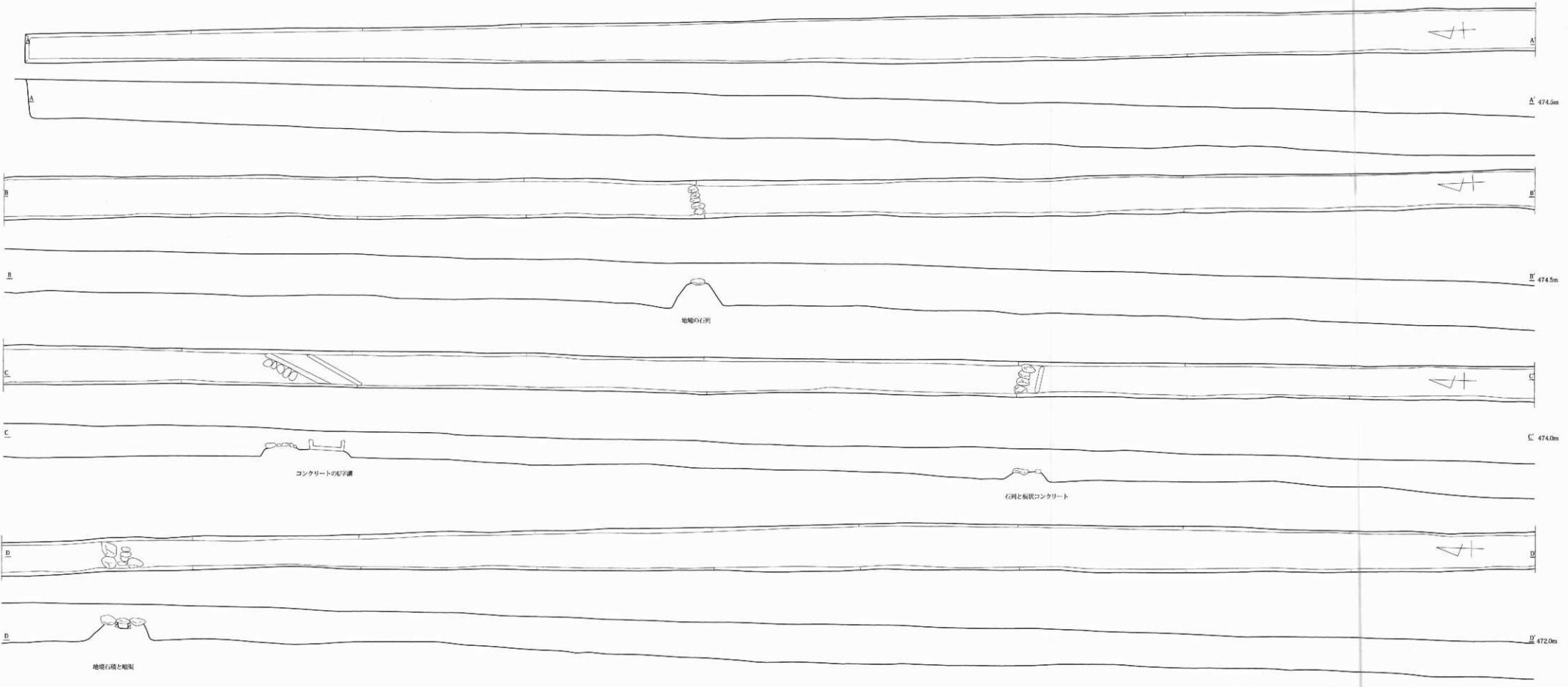
第6図 ニツ木遺跡第1次 全体図2



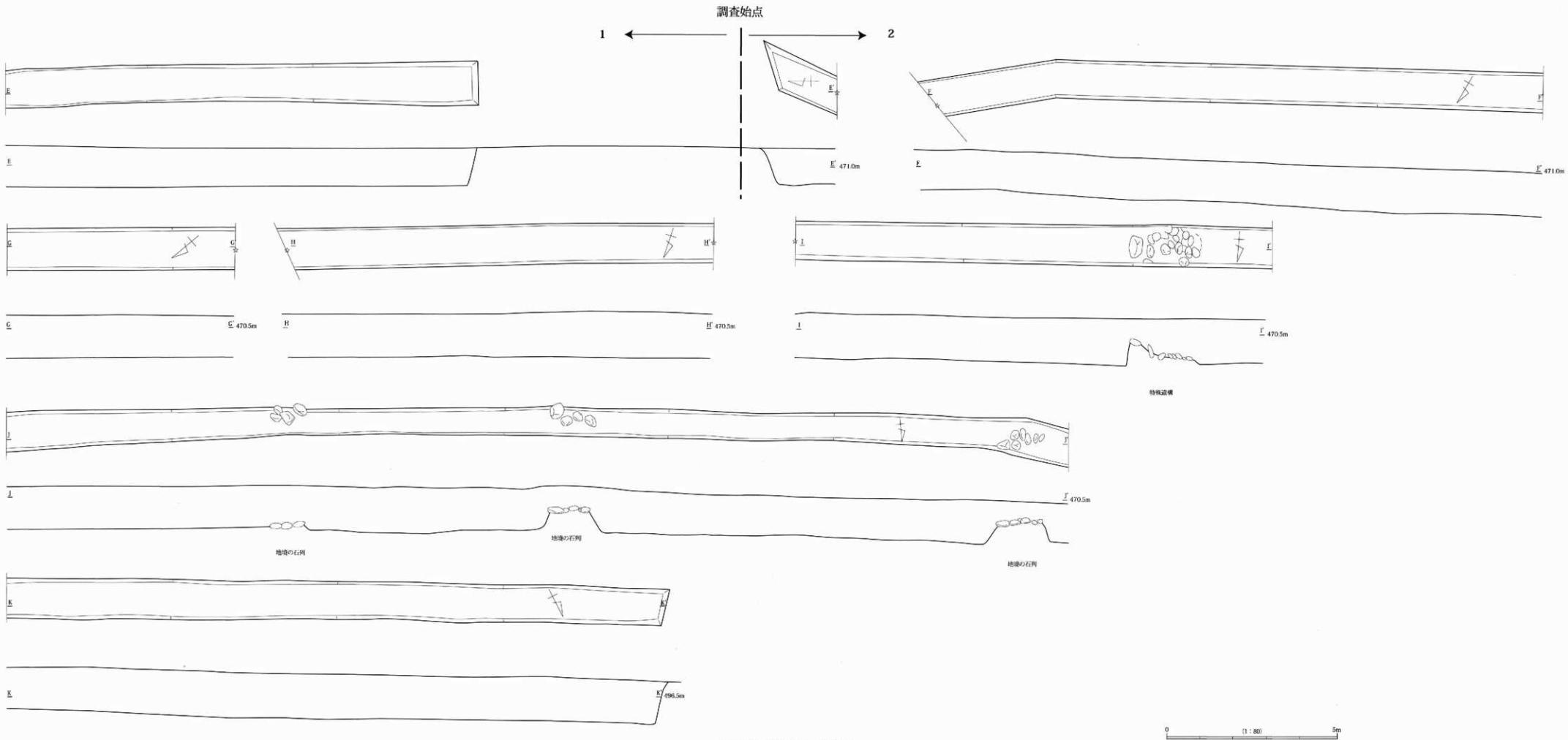
第7図 ニツ木遺跡第2次 全体図



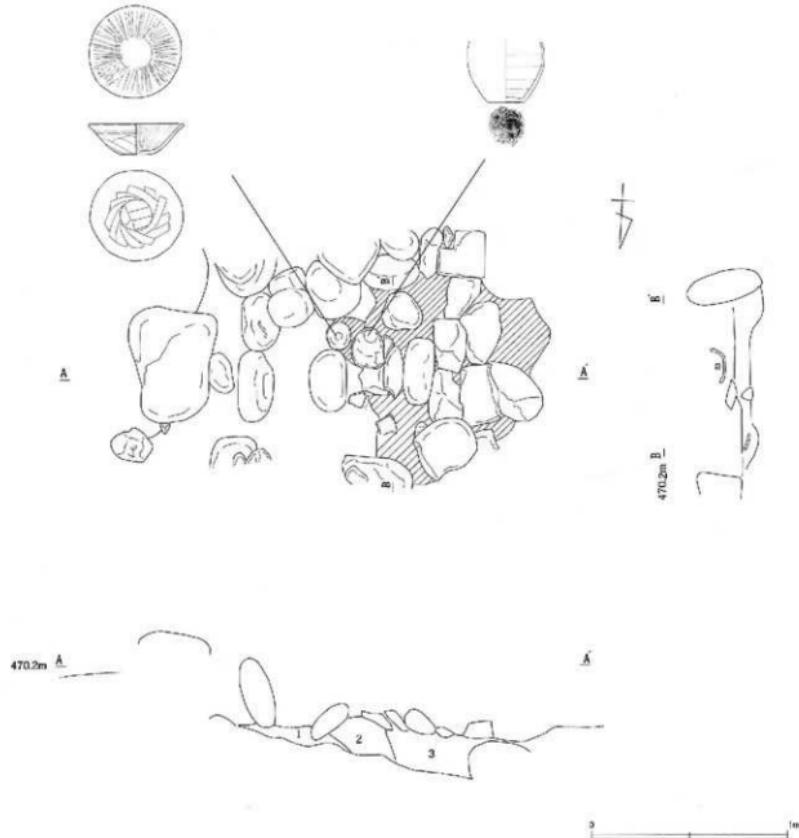
第8図 ニツ木遺跡第3次 全体図



第9図 大免遺跡 全体図1

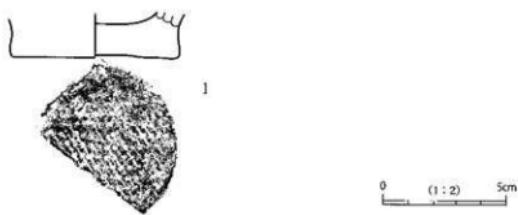


第10図 大免遺跡 全体図2

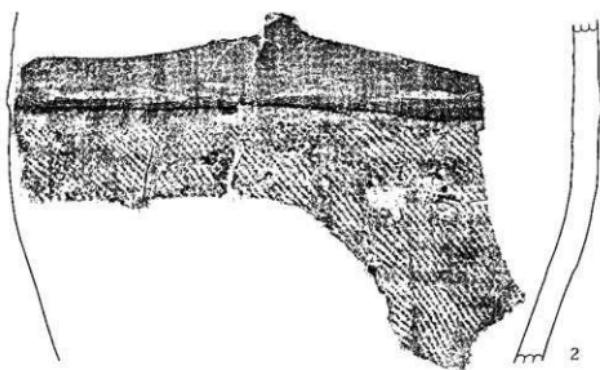
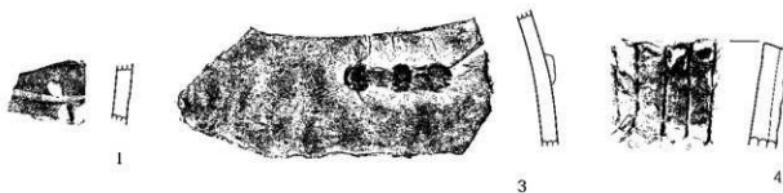


1. 10Y R2/2 (黒褐色) 粗粒土と5Y R3/3 (暗赤褐色) の粘土が10%と2~5ミリ大の礫が10%混じる
2. 7.5Y R3/3 (暗褐色) 粗粒土と5Y R4/6 (赤褐色) 粗粒土が40:60%に炭化物が2%混じる
3. 5Y R4/6 (赤褐色) 粗粒土と5Y R3/6 (暗赤褐色) 粗粒土が10%と5Y R5/6 (明赤褐色) 粗粒土が20%混じる

第11図 大免遺跡 特殊遺構

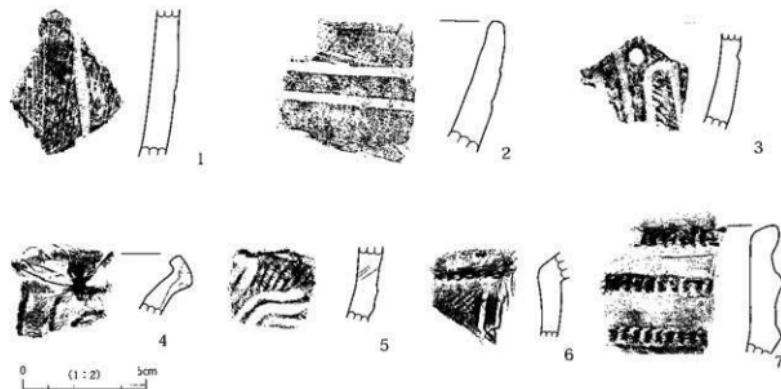


第12図 五反田（堰下西）遺跡 1号住出土遺物

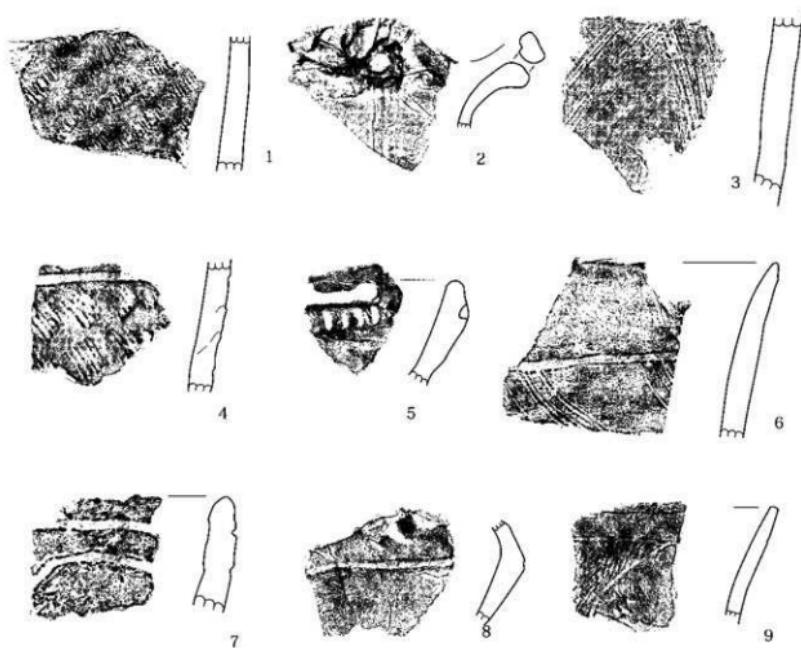


0 (1 : 2) 5cm

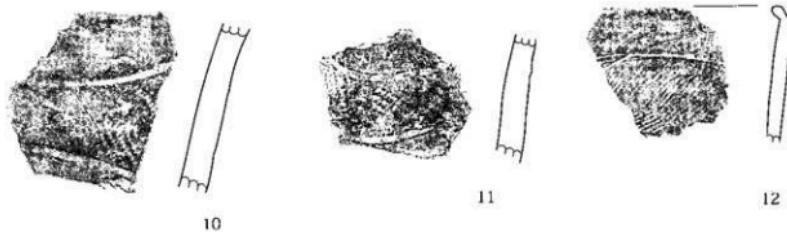
第13図 五反田（堰下西）遺跡 2号住出土遺物



第14図 五反田（塙下西）遺跡 3号住出土遺物



第15図 五反田（塙下西）遺跡 遺構外山上遺物



10

11

12



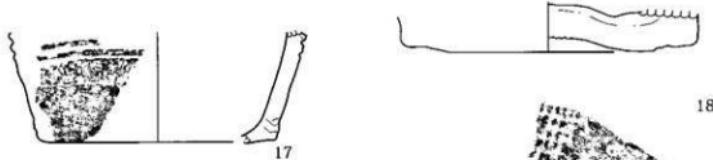
13

14

15



16

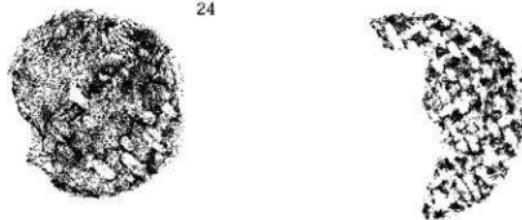
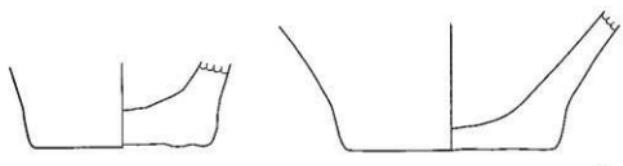
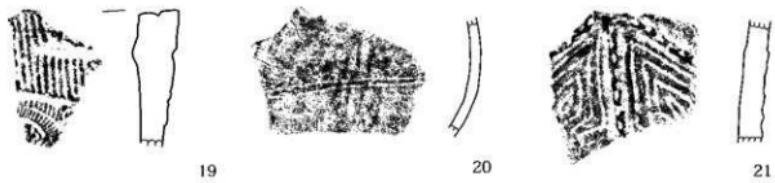


17

18

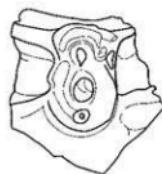
0 (1 : 2) 5cm

第 16 図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外山上遺物



0 (1 : 2) 5cm

第 17 図 五反田（壇下西）遺跡 遺構外出土遺物



27



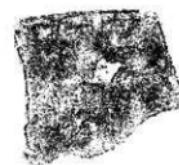
28



29



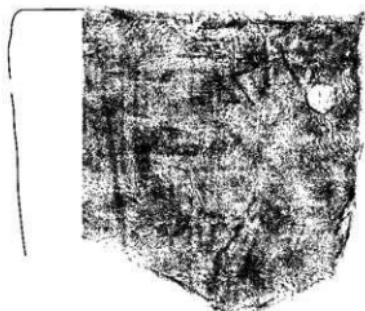
30



32



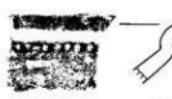
33



32



34



35



36

0 (1 : 2) 5cm

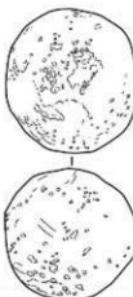
第18図 五反田(東下西)遺跡 遺構外出土遺物



37



38



38

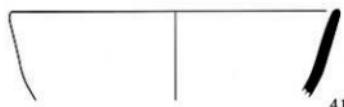
0 (1 : 4) 10cm



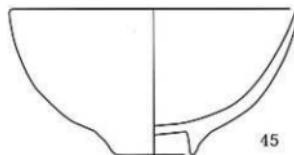
39



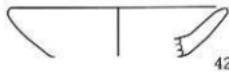
40



41



45



42



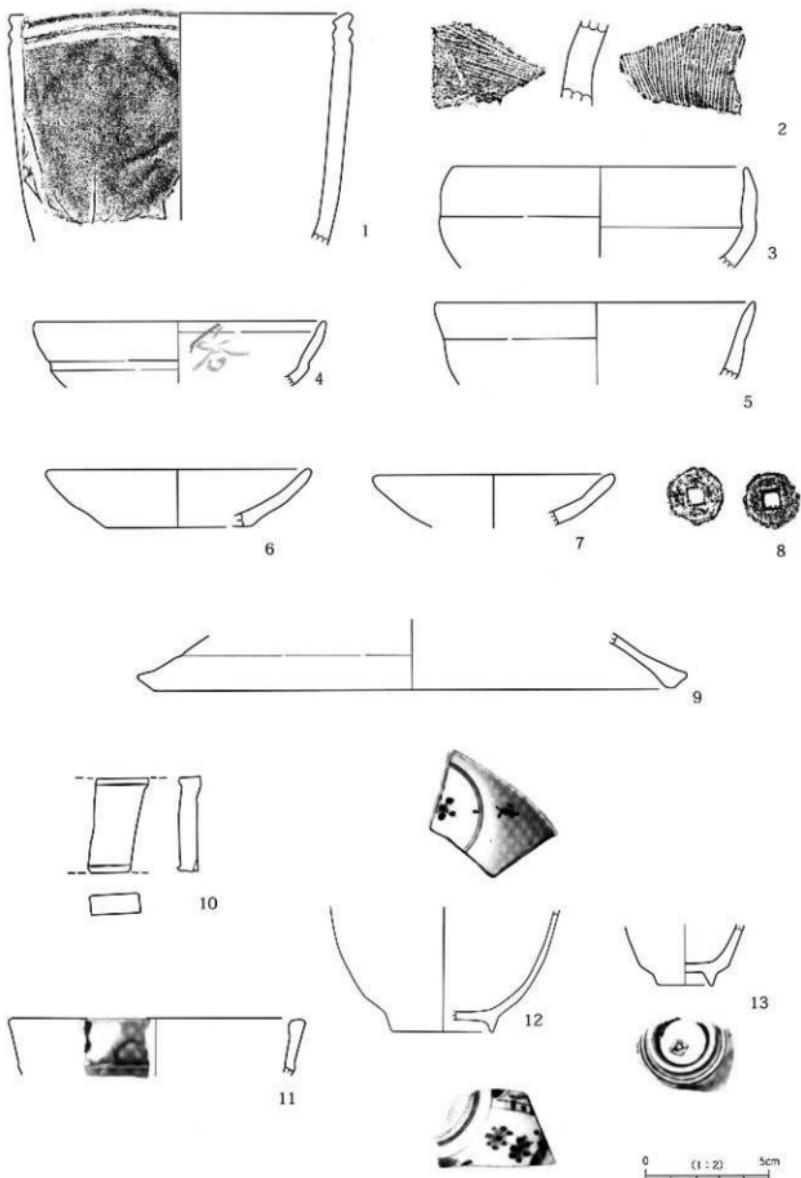
43



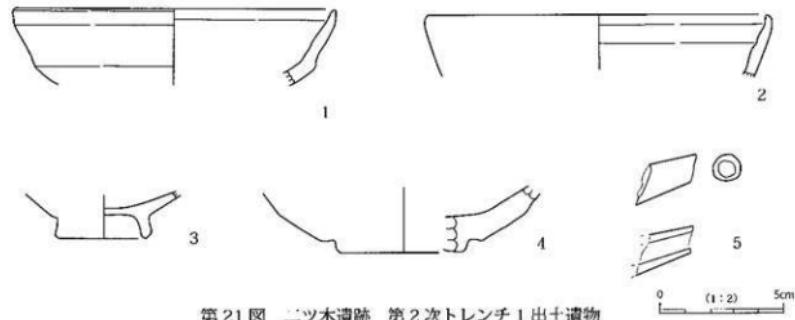
44

0 (1 : 2) 5cm

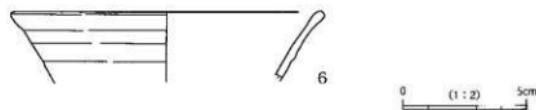
第19図 五反田(堰下西)遺跡 遺構外出土遺物



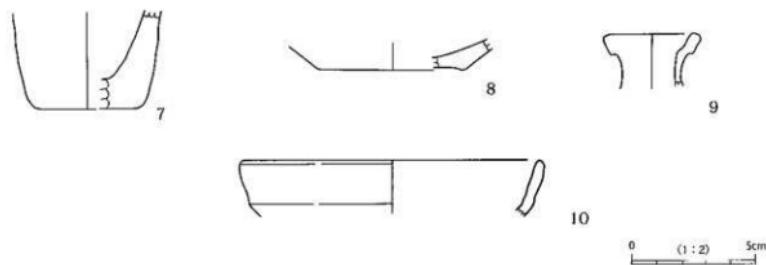
第20図 ニツ木遺跡 第1次出土遺物



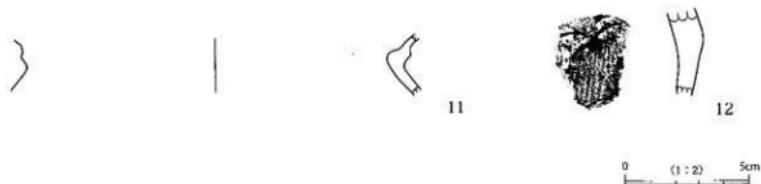
第21図 ニツ木遺跡 第2次トレンチ1出土遺物



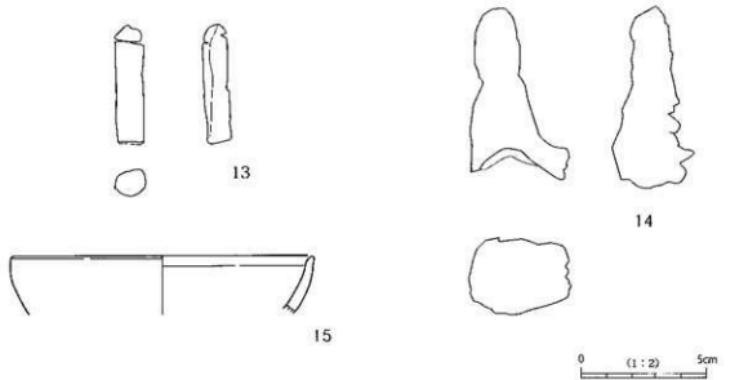
第22図 ニツ木遺跡 第2次トレンチ2出土遺物



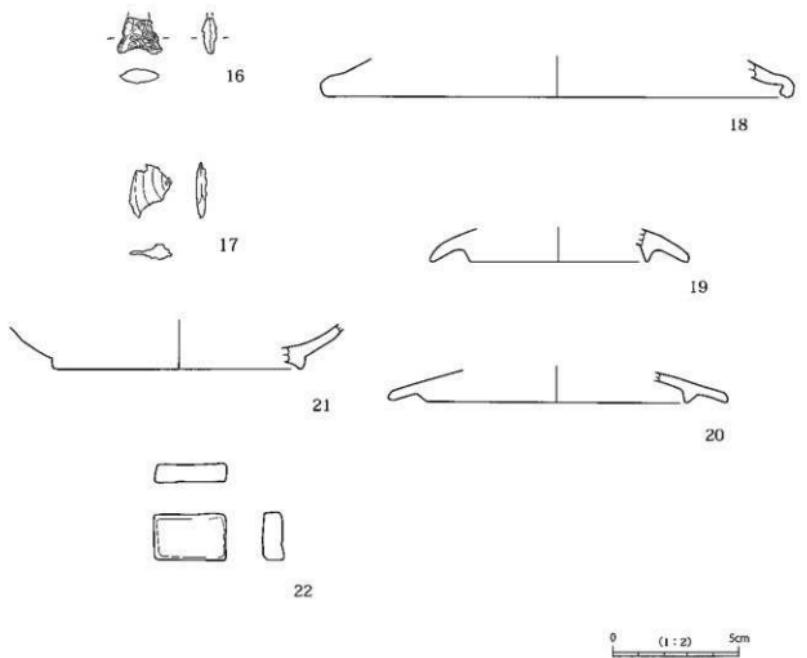
第23図 ニツ木遺跡 第2次トレンチ3出土遺物



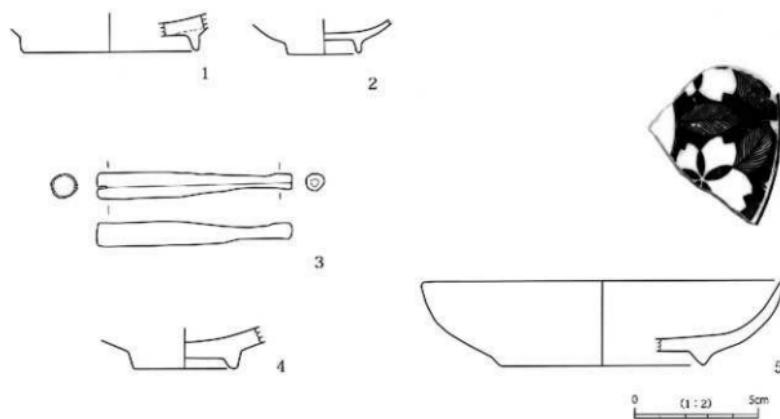
第24図 ニツ木遺跡 第2次トレンチ4出土遺物



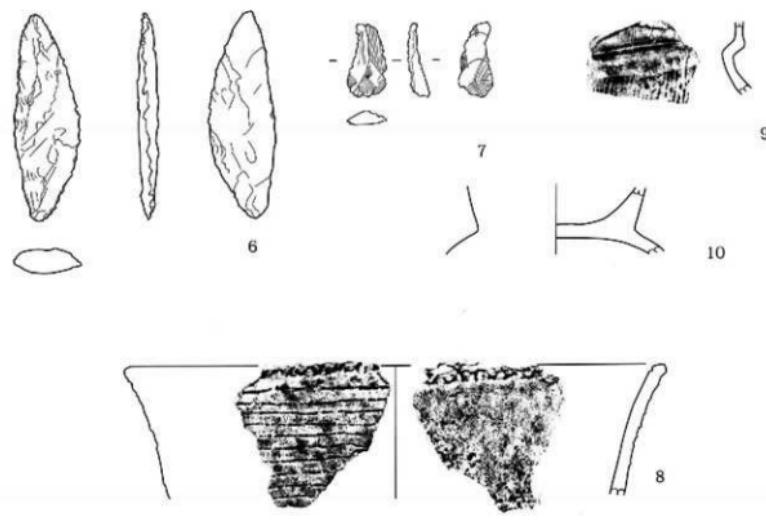
第25図 ニツ木遺跡 第2次立坑1出土遺物



第26図 ニツ木遺跡 第2次立坑2出土遺物



第27図 二ツ木遺跡 第3次トレンチ1出土遺物



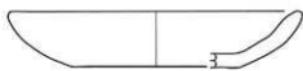
第28図 二ツ木遺跡 第3次トレンチ2出土遺物



11

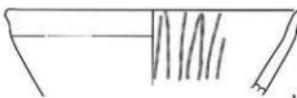


12



3

13



14



0 (1:2) 5cm



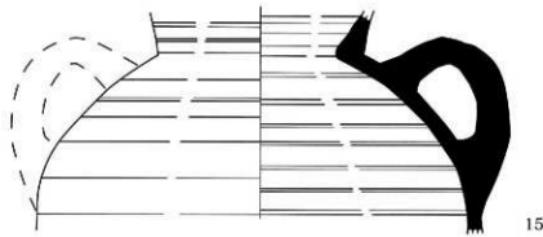
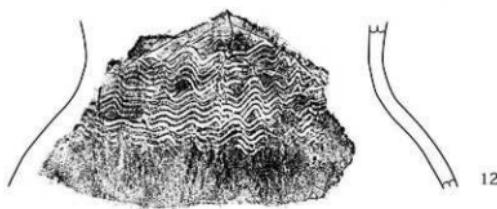
15



第29図 二ツ木遺跡 第3次トレンチ3出土遺物

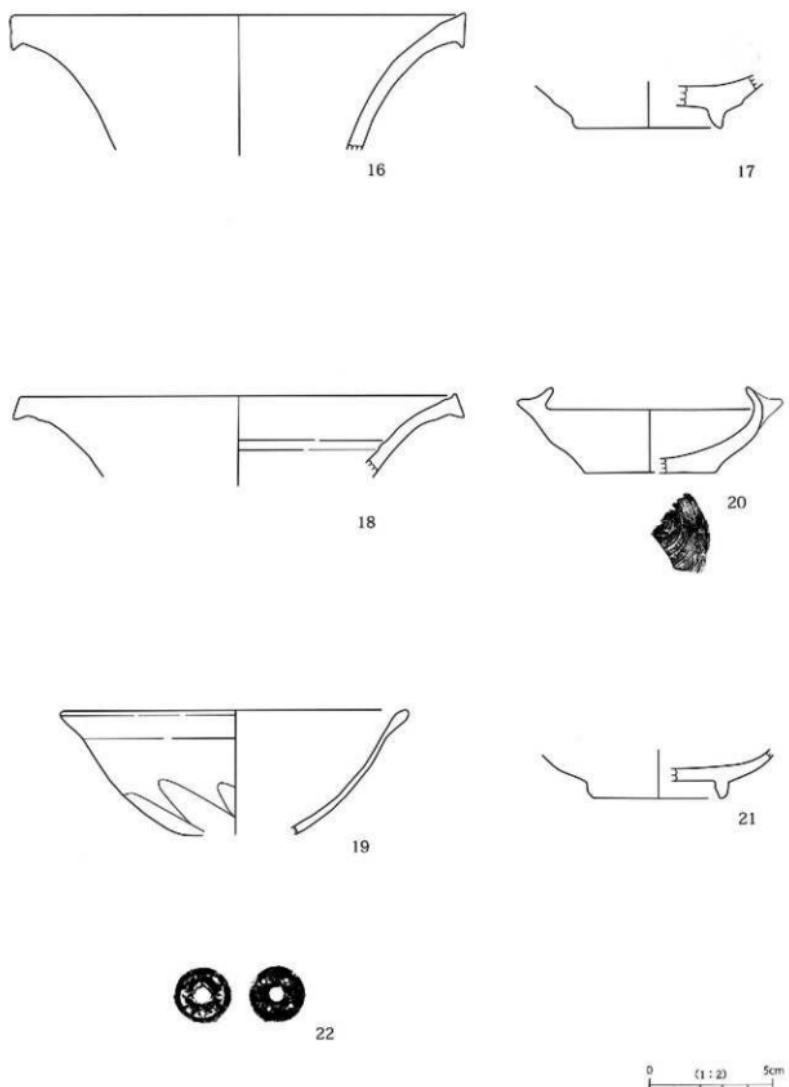


第30図 大兔遺跡 出土遺物

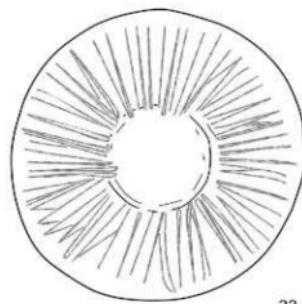


0 (1:2) 5cm

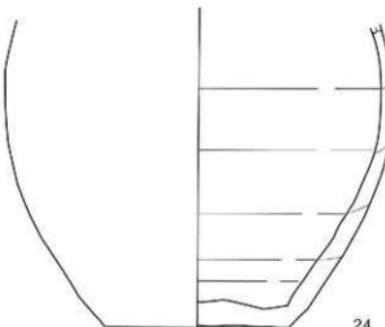
第31図 大免遺跡 出土遺物



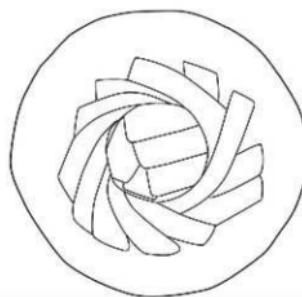
第32図 大免遺跡 出土遺物



23



24



27

0 (1 : 2) 5cm

第33図 大免遺跡 特殊遺構出土遺物

表 1-1 五反田(横下西) 遷跡出土遺物解説表

単位: cm
() 内の数字は、推定

回	名呼	出土地点	種別	縦	横	口径	長径	深さ	色調	點形彌文		文理断面	形状	備考
										横	高さ			
12	1	1号柱	土器	碗形	-	-	(5.8)	-	褐色	円筒形	円筒形	円筒形	筒形	-
13	2	2号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
13	3	2号柱	土器	盆	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
13	4	2号柱	土器	盆	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	1	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	2	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	3	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	4	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	5	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	6	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
14	7	3号柱	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	1	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	2	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	3	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	4	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	5	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	6	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	7	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	8	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	9	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	10	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	11	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
15	12	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	13	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	14	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	15	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	16	遷跡外	土器	碗形	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	17	遷跡外	土器	小切妻	-	-	(5.6)	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
16	18	遷跡外	土器	小切妻	-	-	(11.8)	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	19	遷跡外	土器	小切妻	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	20	遷跡外	土器	小切妻	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	21	遷跡外	土器	小切妻	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	22	遷跡外	土器	小切妻	-	-	(24.0)	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	23	遷跡外	土器	小切妻	-	-	(7.2)	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-
17	24	遷跡外	土器	小切妻	-	-	-	-	褐色	山形	山形	山形	山形	-

表 1-2 五反田(堆下西) 遷跡出土遺物彙表

図 番号	出土地点	種 別	器 種	口徑	底径	高 度	色 調	施 土		整形施文
								白色	黑色	
17	25 遷跡外	二器	深盆	-	-	-	灰褐色	-	-	施切削痕
17	26 遷跡外	1.24	深盆	-	-	-	灰褐色	-	-	施切削痕
18	27 遷跡外	土器	缸	(1.45)	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	28 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	29 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	30 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	31 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	32 遷跡外	土器	深盆	(28.6)	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	33 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	34 遷跡外	土器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	35 遷跡外	二器	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
18	36 遷跡外	1.24	深盆	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	37 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	38 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	39 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	40 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	41 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	42 遷跡外	土器	陶片	-	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	43 遷跡外	土器	陶片	(1.5)	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	44 遷跡外	陶片	陶片	(4.2)	-	-	褐色	-	-	施切削痕
19	45 遷跡外	陶片	陶片	(1.8)	(3.2)	(6.0)	褐色	-	-	施切削痕

表 2 二ツ木遷跡第 1 次出土地盤調査表

図 番号	地盤	目録	口径	口 径	底 径	高 度	色 調	施 土		整形施文
								内 外	内 外	
20	1 施設	平 面	深盆	(1.9)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	2 二器	便 器	-	-	-	-	-	灰土	白土	施切削痕
20	3 便 器	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	4 二器	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	5 便 器	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	6 便 器	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	7 便 器	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	8 壁	便 器	-	-	-	-	-	-	-	長さ 2.5cm 幅 0.1cm 厚さ 1.9g
20	9 地盤	便 器	-	(2.2)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	10 地盤	便 器	-	-	-	-	褐色	灰土	白土	長さ 3.0cm 幅 0.8cm 厚さ 1.5g
20	11 地盤	便 器	-	(1.8)	-	-	褐色	灰土	白土	施切削痕
20	12 地盤	便 器	-	-	-	-	-	-	-	赤褐色
20	13 地盤	便 器	-	-	-	-	-	-	-	赤褐色

表3 ニッキヌマヌサ第2次出土遺物調査表

番号	器物	用意	紀年	器種	口径	底径	腹径	色調	胎土	織形地文	備考
21	1	トランチ1	十角口	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
21	2	トランチ1	土器	手	12.6	13.8	-	-	-	-	赤褐色、無地文
21	3	トランチ1	灰陶片	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
21	4	トランチ1	陶器骨	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
21	5	トランチ1	陶器骨	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
22	6	トランチ2	小底土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
23	7	トランチ3	土器	手	-	4.2	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
23	8	トランチ3	陶器	手	-	6.0	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
23	9	トランチ3	陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
23	10	トランチ3	在底1種類	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
23	11	トランチ4	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
24	12	トランチ4	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
25	13	立坑1	黃陶品	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
25	14	立坑1	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
25	15	立坑1	瓦器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	16	立坑2	瓦器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	17	立坑2	石器	手	17.3	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	18	立坑2	陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	19	立坑2	陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	20	立坑2	陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	21	立坑2	灰陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
26	22	立坑2	陶器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文

表4 ニッキヌマヌサ第3次出土遺物調査表

番号	出土地点	種別	形状	口径	底径	腹径	色調	胎土	織形地文	備考	
27	1	トランチ1	土器	直口付	(7.2)	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
27	2	トランチ1	陶器	直口付	-	(2.8)	-	-	-	-	赤褐色、無地文
27	3	トランチ1	陶器	手	-	-	-	-	-	-	赤褐色、無地文
27	4	トランチ1	陶器	手	-	-	-	-	-	-	赤褐色、無地文
27	5	トランチ1	陶器	手	(4.6)	(8.2)	(3.4)	-	-	-	赤褐色、無地文
28	6	トランチ2	石器	手	-	-	-	-	-	-	赤褐色、無地文
28	7	トランチ2	土器	手	(22.0)	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
28	8	トランチ2	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
28	9	トランチ2	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
28	10	トランチ3	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
29	11	トランチ3	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
29	12	トランチ3	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
29	13	トランチ3	土器	手	(12.0)	(6.7)	(2.1)	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
29	14	トランチ3	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文
29	15	トランチ3	土器	手	-	-	-	青褐色	赤褐色	-	赤褐色、無地文

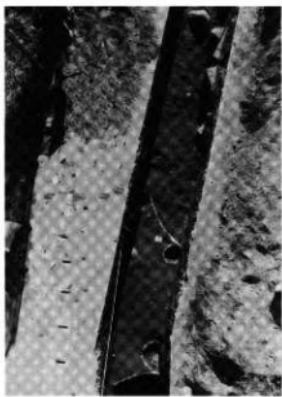
表5 人免謝山土壤物相調査表

番号	地點	固結	口絶	通計	深さ	色調	断面	断面文	断面絵文
30	1 十数 万年 河床	固結	-	(12.2)	-	褐色 白、灰色 灰白色	U角柱 U、直角柱 直角柱	解釈的断面文	固有の断面文
30	2 万年 河	-	-	(6.2)	-	-	-	-	固有の断面文
30	3 甲斐半 島	-	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
30	4 飛行岩	-	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
30	5 滑落斜 面	固 直	-	(4.2)	-	-	-	-	固有の断面文
30	6 7枚	覆水層	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
30	7 土豆丘	人形	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
30	8 二段	固結	-	(8.6)	-	褐色	U、直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
30	9 二段	固結	-	(8.6)	-	褐色	U、直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	10 異常な 六面	-	-	-	-	灰褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	11 路筋	帶	-	-	-	褐色 灰褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	12 土筋	帶	-	-	-	褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	13 +26	2段	-	-	-	褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	14 土筋	帶	-	-	-	褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
31	15 固結帶	固結	-	(18.4)	-	褐火黄色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	16 河床带	固結	-	(6.0)	-	褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	17 河床带	固結	-	(17.6)	-	灰白色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	18 滑落带	直	-	(14.3)	-	褐色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	19 +20	河床带	-	(10.8)	(5.2)	灰褐色 灰白色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	20 滑落带	固結	-	(5.2)	-	灰白色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
32	21 滑落带	直	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
32	22 白層	-	-	-	-	-	-	-	固有の断面文
33	23 上層帶	灰	-	-	-	灰褐色 灰白色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
33	24 +25	土砂	小	11.6	4.3	4.0	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
33	25 沈没層	河床	-	(7.3)	-	灰褐色 灰白色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文
33	26 沈没層	カメ	-	(6.1)	-	白、無色	U直角柱 直角柱	固有の断面文	固有の断面文

写真図版



五反田（塙下西）遺跡 1号住居址



五反田（塙下西）遺跡 2号住居址



五反田（塙下西）発掘風景

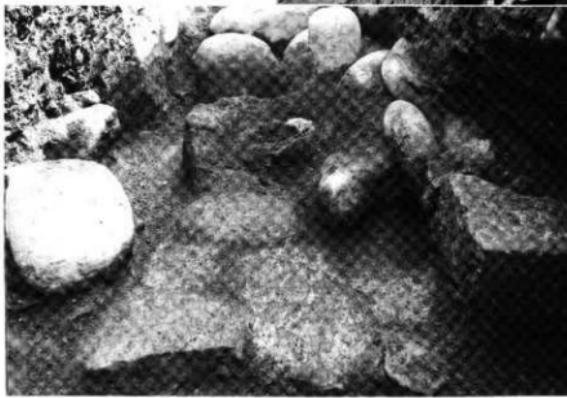
図版 2



ニツ木遺跡第1次発掘風景



大免遺跡発掘風景



大免遺跡特殊遺構

图版 3

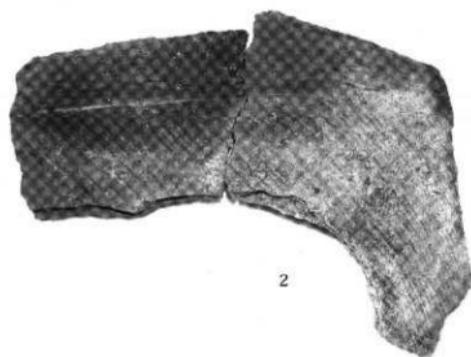


1

五反田（堰下西）遺跡 1号住出土遺物



1



2



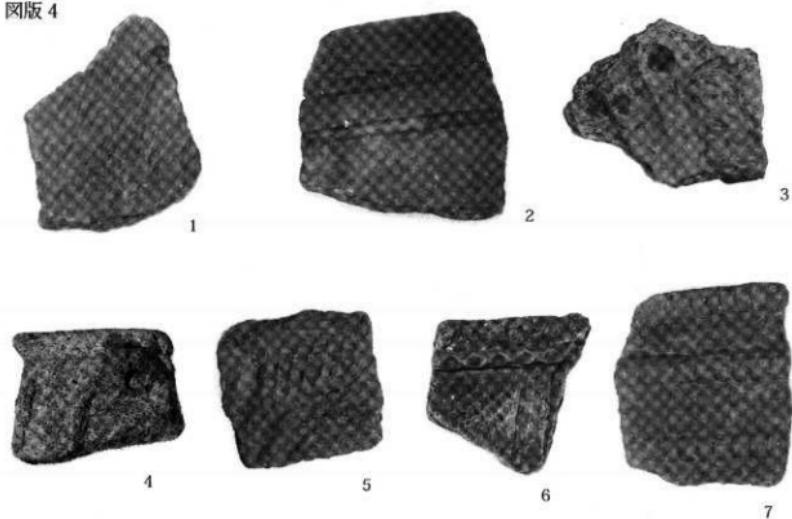
3



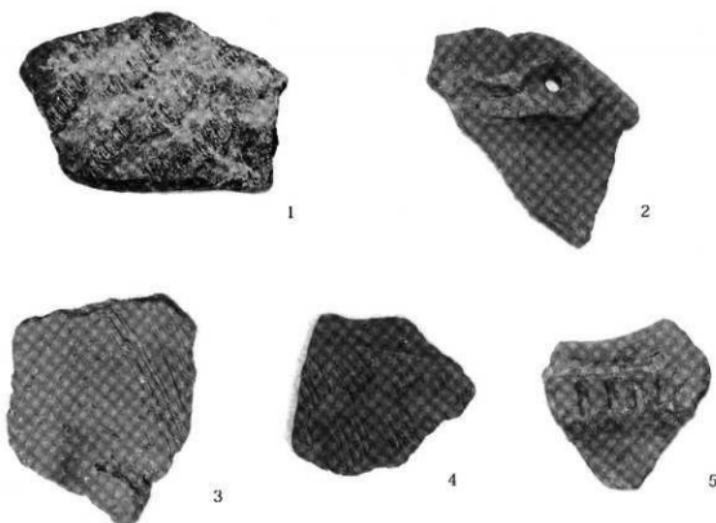
4

五反田（堰下西）遺跡 2号住出土遺物

図版 4

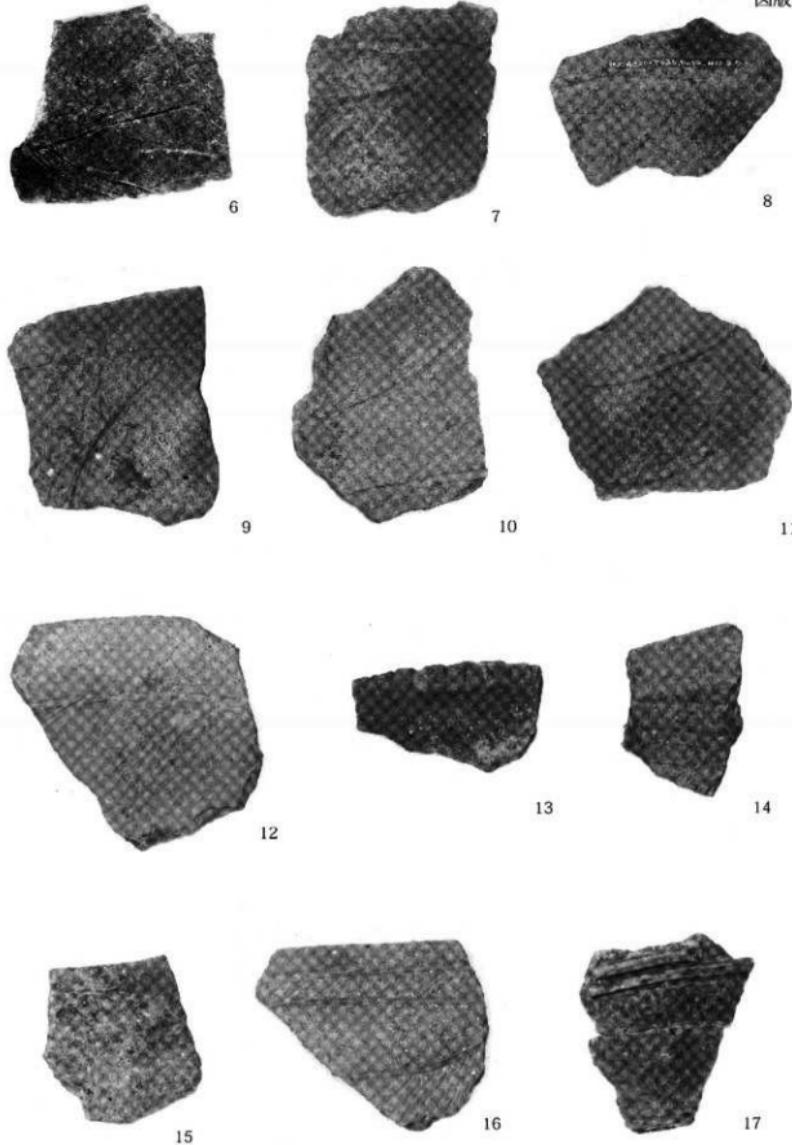


五反田（堰下西）遺跡 3号住出土遺物



五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 5



五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 6



18

19

20



21

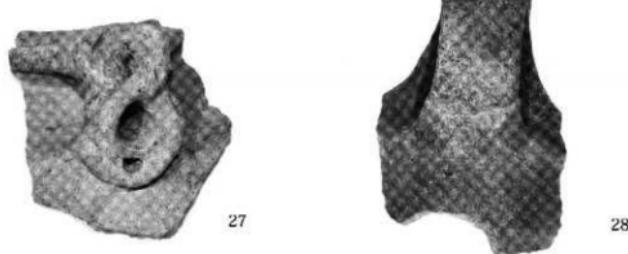
22

23



25

26



27

28

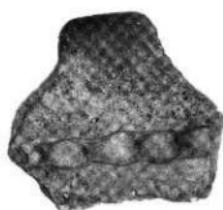
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物



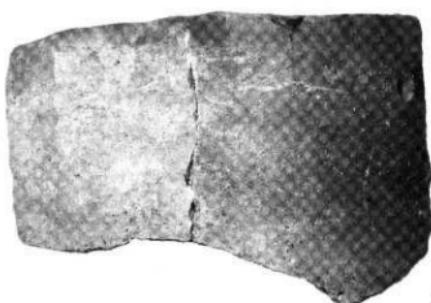
29



30



31



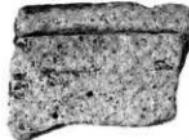
32



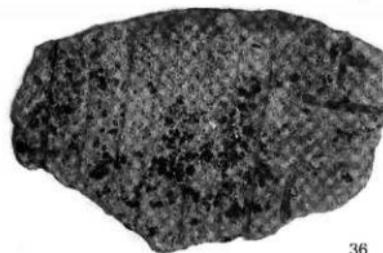
33



34



35



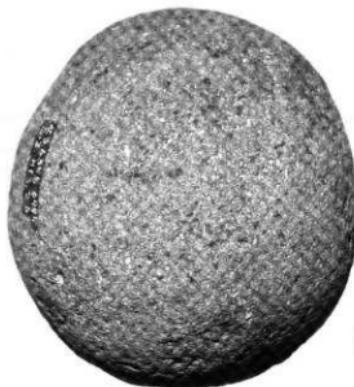
36

五反田（塙下西）遺跡 遺構外出土遺物

图版8



37



38



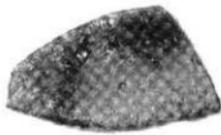
39



40



41



42



内

45

外



43

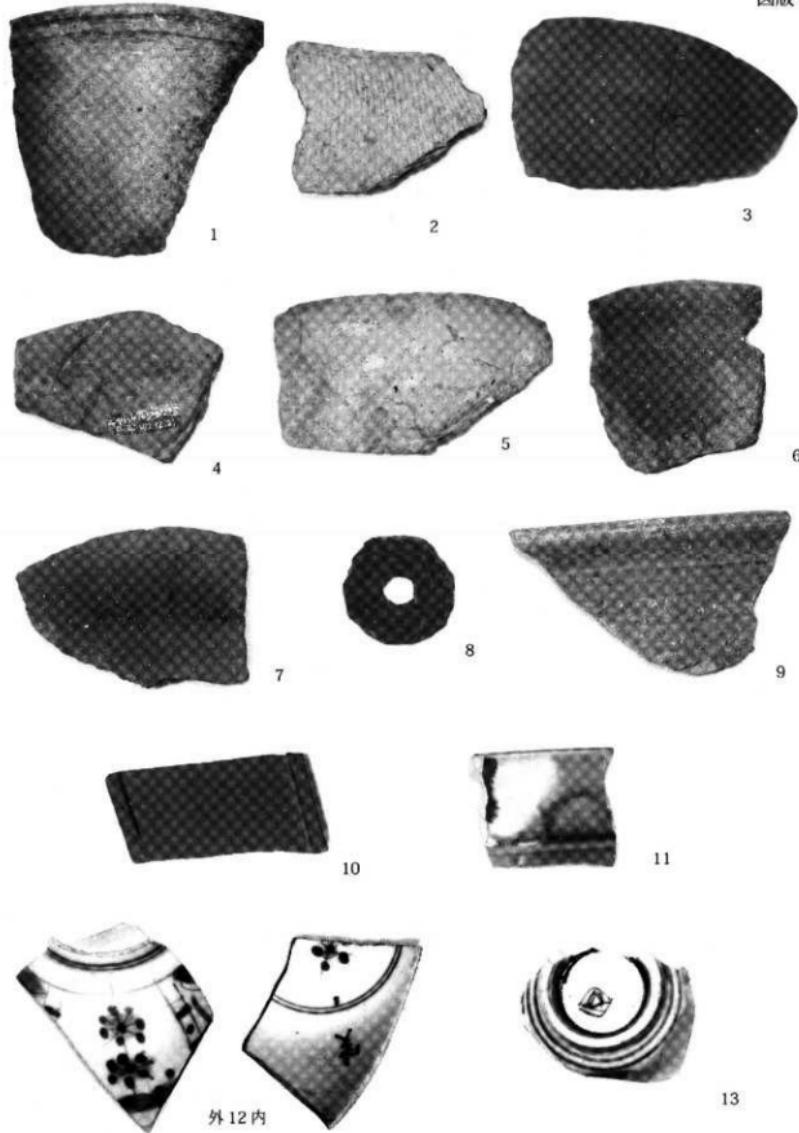


44



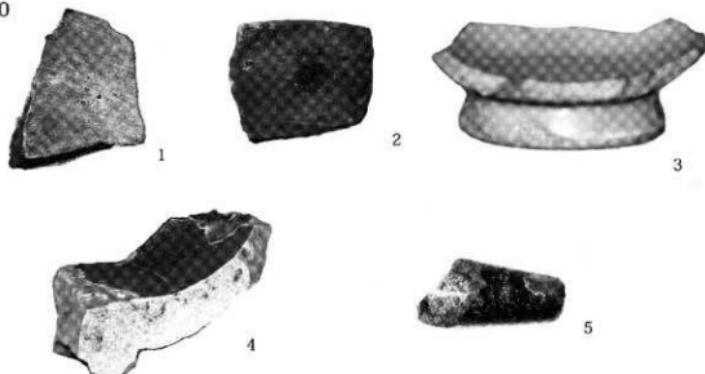
五反田（塙下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版9



二ツ木遺跡 第1次出土遺物

図版 10



二ツ木遺跡 第2次トレンチ1出土遺物



二ツ木遺跡 第2次トレンチ2出土遺物



二ツ木遺跡 第2次トレンチ3出土遺物



二ツ木遺跡 第2次トレンチ4出土遺物

図版 11



13



14



15

二ツ木遺跡 第2次立坑1出土遺物



16



17



18



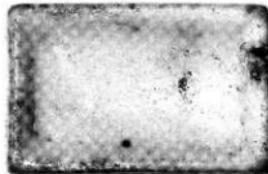
19



20



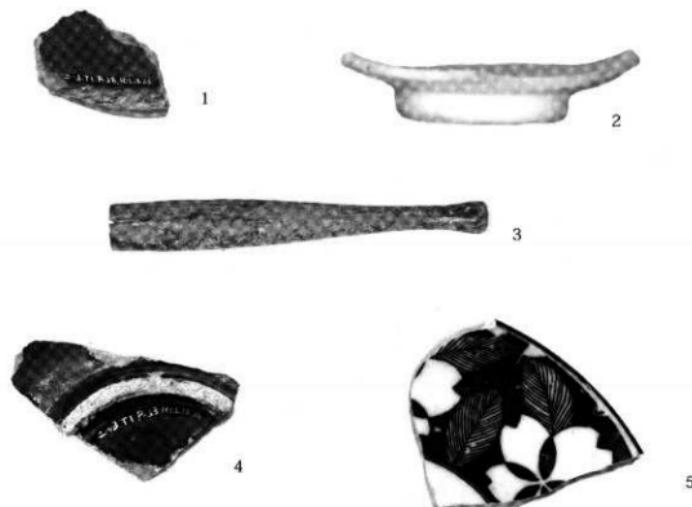
21



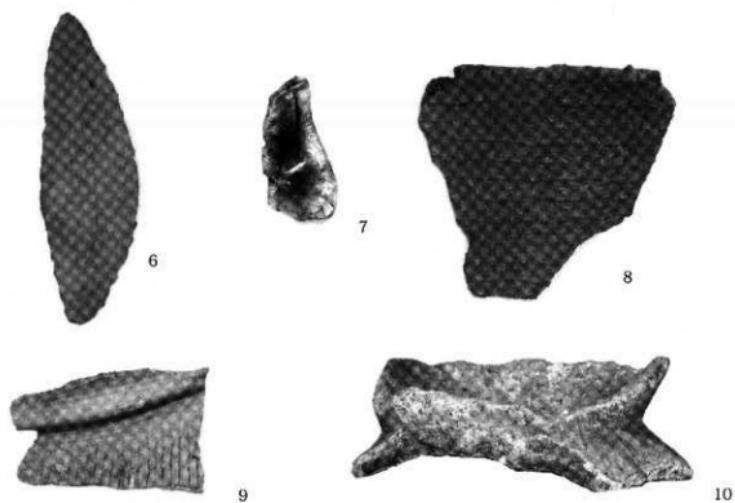
22

二ツ木遺跡 第2次立坑2出土遺物

図版 12



二ツ木遺跡 第3次トレンチ1出土遺物



二ツ木遺跡 第3次トレンチ2出土遺物

図版 13



11



12



13



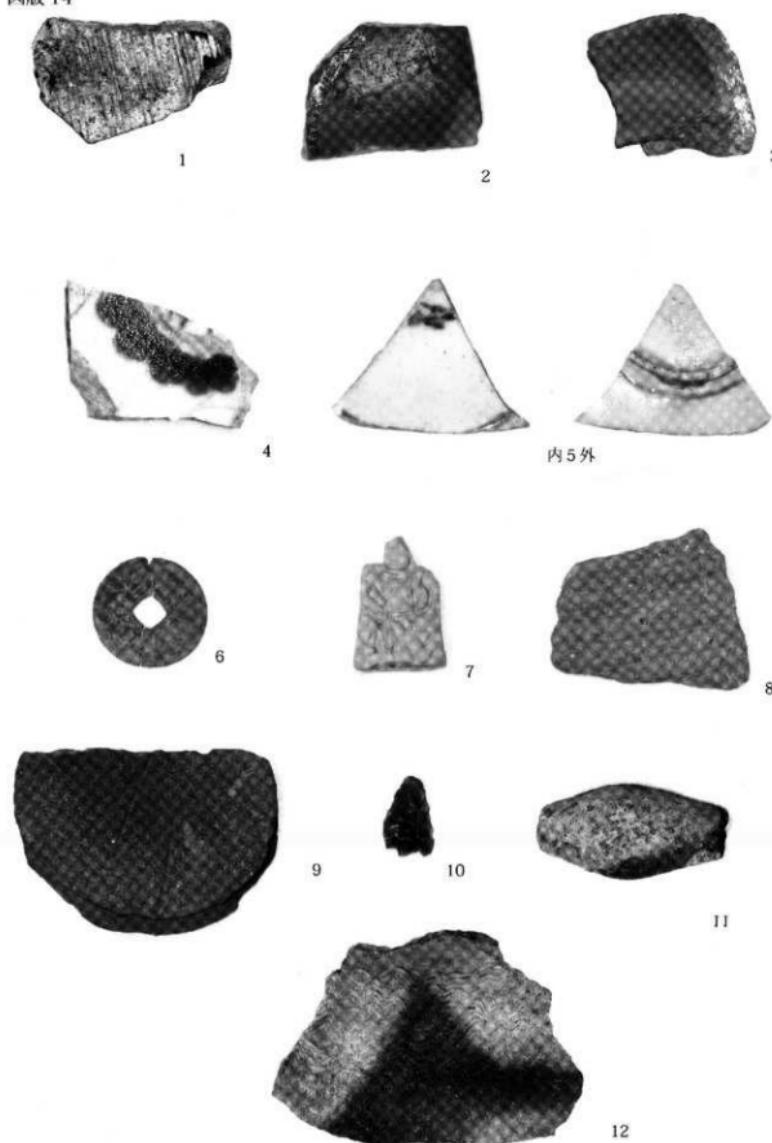
14



15

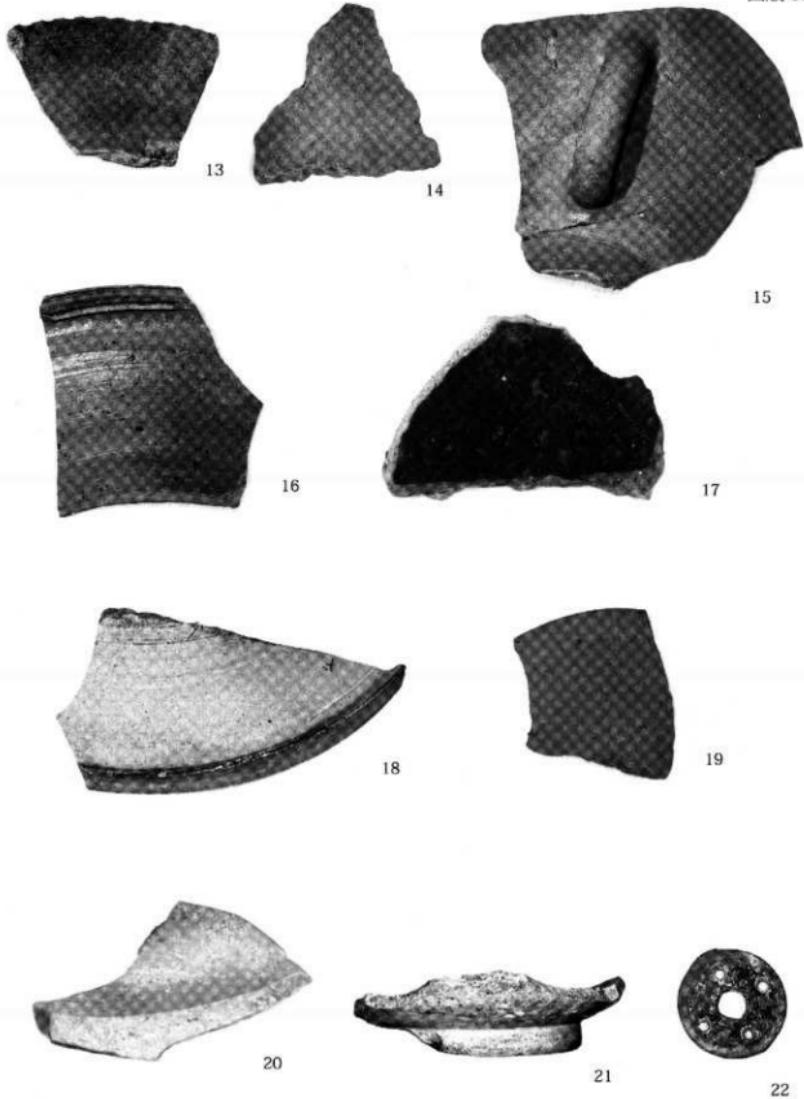
二ツ木遺跡 第3次トレンチ3出土遺物

図版 14



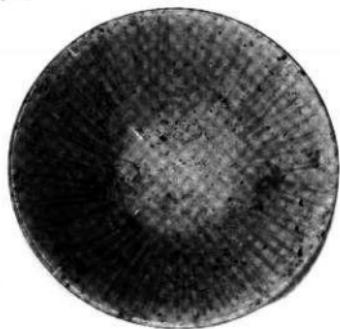
大免遺跡 出土遺物

図版 15



大免遺跡 出土遺物

図版 16



23



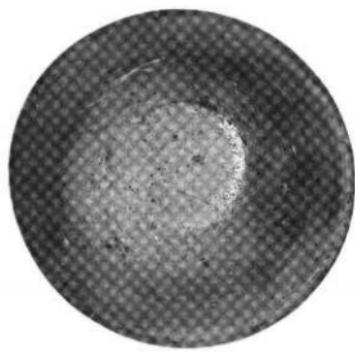
24



23



25



大免遺跡 特殊遺構出土遺物

報告書抄録

ふりがな	ごたんだ (せざしたにし) いせき	ふたつぎいせき	たいめんいせき
書名 五反田(堰下西)遺跡、二ツ木遺跡(第1次・2次・3次)、大免遺跡			
副題 天然ガスパイプライン(甲府ライン)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書			
シリーズ名			
編著者名 山路恭之助 深沢裕三			
発行者名 箕面町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会			
調査機関 箕面町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会			
所在地、電話 〒408-0112 山梨県北巨摩郡須玉町若神子 1429 電 0551-20-6111			
市町村コード 194034			
調査原因 工事に伴う発掘調査			
調査機関 箕面町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会			
発行日 平成 14 年 10 月 31 日			

ふりがな	ごたんだ (せざしたにし) いせき
所収遺跡 五反田(堰下西)遺跡	
所在地 山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 1102-1 番地ほか	
位置 東経 138° 25' 29.3" 北緯 35° 46' 39.3"	
調査期間 平成 13 年 1 月 12 日 ~ 平成 13 年 2 月 20 日	
調査面積 300 m ²	
調査原因 天然ガスパイプライン(甲府ライン)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	
主な時代 繩文時代・弥生時代・中世～近世	
主な遺構 住居	
主な遺物 土器、灰釉陶器	

ふりがな	ふたつぎいせき
所収遺跡 二ツ木遺跡(第1次・2次・3次)	
所在地 山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 793-1 番地ほか	
位置 東経 138° 25' 30.7" 北緯 35° 46' 27.8"	
調査期間 第1次 平成 12 年 12 月 13 日 ~ 13 年 1 月 12 日 第2次 5 月 14 日 ~ 6 月 14 日 第3次 10 月 23 日 ~ 10 月 31 日	
調査面積 500 m ²	
調査原因 天然ガスパイプライン(甲府ライン)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	
主な時代 繩文時代・古墳時代・弥生時代・中世～近世	
主な遺構 地壇の石積みと石列、壙の石列、トレンチ、立坑	
主な遺物 土器、人骨器、施釉陶器	

ふりがな	たいめんいせき
所収遺跡 大免遺跡	
所在地 山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 850-1 番地ほか	
位置 東経 138° 25' 32.4" 北緯 35° 46' 10.7"	
調査期間 平成 13 年 2 月 27 日 ~ 平成 13 年 3 月 29 日	
調査面積 370 m ²	
調査原因 天然ガスパイプライン(甲府ライン)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	
主な時代 繩文時代・弥生時代・平安時代・中世～近世	
主な遺構 地壇の石積み・暗渠	
主な遺物 土器、須恵器、施釉陶器	

印刷仕様

紙 質	表 紙 テンカラーねずみ 215Kg
	本 文 コート紙 70.5Kg
D T P	Macintosh Adobe InDesign2.0
使用 フォント	小塚明朝、小塚ゴシックを使用
画 像 原 稿	階調画像線数はモノクロ 133 線

五反田(堰下西)遺跡
二ツ木(第1次・2次・3次)遺跡
大免 遺跡

帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 14 年 11 月 30 日発行

編 集 須玉町教育委員会
特定非営利活動法人文化資源活用協会
発 行 須玉町教育委員会
特定非営利活動法人文化資源活用協会
印 刷 株式会社 ヨネヤ

